

令和4年度第4回南陽警察署協議会の開催

日 時	令和5年2月15日(水)午後3時から午後5時までの間
場 所	南陽警察署 会議室
出席者	協議会委員：会長以下7名 警察署員：署長以下9名
議 題	○ 速度等取締り指針 ○ 災害対策

【協議内容等】

議 題	速度等取締り指針	
	委員からの意見等	警察署の回答
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点路線での交通取締りは、ドライバーの意識付けとして効果が高いので今以上に警察の露出があればいいと思う。 ・ パトカーのレッド走行で緊張感を持たせ「見せる活動」を強化することは、有効性がある取組だと思う。 ・ 重点路線以外の区域で、交通取締り場所を選定する基準はあるか。 	<p>令和4年の当署管内の交通情勢は、発生件数、負傷者数及び死者数、いずれも前年よりも減少し、交通死亡事故は念願のゼロを達成するなど、交通安全意識が高まっている表れであると思っています。</p> <p>重点路線以外の区域で、交通取締り場所を選定する明確な基準はありませんが、交通情勢に応じて必要な箇所において、交通取締りを含めた各種対策を推進していきます。</p> <p>住民から要望があった場所で交通取締りや警戒活動を実施し、事故防止に資する活動を真摯に実行していきます。</p>

議 題	災害対策	
	委員からの意見等	警察署の回答
	<p>屋根の雪下ろし時の事故防止対策として、命綱を付けるよう呼び掛けられているが、一般家庭の屋根等で命綱を設置する場所が分かりにくいので、チラシを作成し、具体的な図等で示してはどうか。</p>	<p>南陽署管内でも屋根の雪下ろし中に転落した重傷事故が発生しております。</p> <p>警察では広報紙を活用して事故防止を呼び掛けたり、やまがた110ネットワークによるメール配信を活用して事故防止の広報を実施しています。</p> <p>御提言について、事故防止のために命綱を設置する場所を分かりやすくする絵や図を広報紙へ掲載すること等を検討します。</p>

<p>災害時の連絡手段等について教えてほしい。</p>	<p>災害が発生した場合には、110番通報をお願いします。その他、119番に連絡したり、近隣住民の方に通報をお願いする方法もあります。</p> <p>災害発生が予想される場合は、市や町に警察官を連絡員として派遣し、警察と行政で連携することとしています。</p> <p>警察、行政のどちらに通報しても情報を共有し、現場に向かうような体制が構築されていますので、迷わず通報してください。</p>
<p>ハザードマップはどこで作成し、発行しているのか。</p>	<p>ハザードマップの作成、発行は、各市町村が行っています。</p> <p>最新版は発行した段階で、市報等と共に全戸に配布しているほか、市や町に転入してきた人にも配布しているとのこと。</p>
<p>ハザードマップに載っている避難箇所までの道路が冠水して行けない場合はどうすれば良いのか。</p>	<p>ハザードマップに載っている避難箇所は、地域を指定していませんが、地区ごとに避難箇所を決める場合は、第1候補、第2候補と何箇所か避難場所を決めておけば良いと思います。</p>
<p>防災出前講座をお願いする時は、どこにお願いすれば良いのか。</p>	<p>防災出前講座の依頼は、警備課が窓口となりますが、お近くの交番や駐在所で受け付けていますので、希望日時場所等を御連絡をください。警察官が指定された場所に赴いて行きます。</p>
<p>防災出前講座は、1年に1回ずつ各地区に警察が出向いて実施しては、どうか。</p>	<p>連絡を受けて実施するだけでなく、警察から能動的に地区会長等に声掛けを行い、イベント等があれば出向いていくことを検討します。</p>
<p>大雨の際に避難場所に行こうとしたが、道路が冠水して行けず、案内もなく困ったことがあるので、誘導を付けることはできないか。</p>	<p>大きな災害が発生した場合は、消防、自治体、警察の連携が必要です。</p> <p>警察では災害発生時、市や町に連絡係を派遣するので、連携をとりながら対応していきます。</p>
<p>豪雪で暖をとるため車に避難し、一酸化炭素中毒で亡くなった事故があったが、事故回避のため、正しい対応を教えてください。</p>	<p>大雪が予想される場合、一番の対策は不要不急の外出を控えることです。</p> <p>外出しなければならない場合は、事前に道路状況等をニュース等で確認することやスコップや、牽引ロープ、毛布等を車に備え付けておくこと、また、エンジンを掛けて駐車する際は、マフラーの周辺の除雪等をしてください。</p>

<p>災害が発生した時の被災地への救援等はどうなっているか。</p>	<p>災害が発生し、人手が必要となれば、警察は機動隊への出動要請や他県への応援要請等を行います。</p>
<p>災害時の対応について、自治体との訓練や打ち合わせ等は、どのくらいの頻度で行っているのか。</p>	<p>南陽市と高畠町では、梅雨期前に水防訓練、秋に総合防災訓練を実施しており、警察は対策本部の立ち上げ訓練に参加し、運用要領の共有、避難誘導等、自治体や消防、参加した住民の方と連携を図っています。</p> <p>また、大雨や大雪が予想される場合には、自治体の担当者と連絡を取り合い、不測の事態が発生した場合の対処についても随時打ち合わせ、情報交換を行っています。</p> <p>災害が発生した場合は、関係機関が連携して対処することが重要です。</p> <p>引き続き関係機関と連携して訓練を実施していきます。</p>

議 題	その他
<p>委員からの意見等</p>	<p>警察署の回答</p>
<p>飲酒運転をさせない取組として、ステッカーを作り、酒を提供する飲食店のレジ付近や出口ドアに貼ってもらうのはどうか。</p> <p>また、駐車場の看板などにも貼らせてもらうことはどうか。</p>	<p>これまで、安全協会等と連携して、当署のオリジナルキャラクター「トマツト君」を活用したステッカーを配布したり、各企業管理者と連携し、飲酒運転根絶だるまを配布したりするなどの活動を実施しています。</p> <p>飲酒運転を根絶するためには、させない取組が重要と考えますので、御提言について、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>危険な交差点の手前や事故多発地点などの道路に注意喚起の「ん？」などのペイントをしてはどうか。</p>	<p>御意見のとおり、交通事故を抑止するためには前例にとられない新たな対策が必要と考えます。</p> <p>道路のペイント等は、道路管理者が主体となりますので、連携して各種対策を推進しています。</p> <p>しかし、積雪のため、時期によっては効果が低く、ペイントが消えやすい環境であること、内容に理解を示していただけない方がいることも考慮して対応します。</p>
<p>全国で多発している強盗被害は、山形県で発生するかもしれないが、どんな対策を行うのか。</p>	<p>強盗被害防止対策としては、常時施錠が有効ですので、防犯講話やチラシ等で在宅中でも常時施錠するよう広報していきます。</p> <p>また、個人情報流出して強盗に狙われる場合があるので、防犯講話等でインター</p>

	ネットのアンケートに安易に答えないこと等も広報します。
先日、イノシシに襲われた旨の報道があったが、遭遇した時の具体的な対処方法をもっと広報してはどうか。	やまがた110ネットワークや広報チラシ等を活用し、クマやイノシシ等に襲われることを防ぐための具体的な対処方法等について広報していきます。